

桑折宿まちなか街道 伊達氏ルーツ桑折宿と奥州・羽州・相馬中村街道探訪ツアー が開催されました！



2020年11月10日福島県桑折町（県道353号線沿い）にて伊達氏ルーツ桑折宿と奥州・羽州・相馬中村街道探訪ツアーが行われました。

このツアーは10月上旬から11月中頃までに桑折町を巡るA～Dの4つのコースが設定されています。今回ご紹介するのは、「奥州街道桑折宿の歴史と街並み探訪コース（Cコース）」です。



▲集合写真 奥州街道桑折宿の歴史と街並み探訪コースに参加された皆さん



▲奥州街道・羽州街道分岐「追分」 右側の道路が「奥州街道」、左側の道路が「羽州街道」

JR 桑折駅から出発し、およそ 15 箇所の桑折宿の歴史に関するスポットを巡りました。ガイドは 2 人体制で、時には資料を使いながら桑折町の魅力について、丁寧に説明されていました。参加者の皆さんは、その説明を聞きながら、写真を撮ったり、配布されたパンフレットにメモを書き込んだりと理解を深めておられました。

さらに、「まちの味覚紹介」ではお店の方との会話も楽しみながら、桑折町のお土産品を購入されていました。



▲旧伊達郡役所



▲桑折町の味覚紹介の様子

今回参加していただいた皆さんにツアーの感想を聞きました。

- 桑折の歴史やまちづくりなどについて丁寧に解説していただけだったので、とても楽しかったです。
- このツアーには 3 回目の参加になります。以前ツアー中に東北風景街道の紹介があり、自宅に帰ってからインターネットでも検索し、東北に沢山の風景街道があることを知りました。



▲ツアーの様子

東北の風景街道 パートナーシップ紹介

奥州・羽州「桑折宿」パートナーシップの皆さん

に風景街道の取組についてお伺いしました。



奥州・羽州「桑折宿」
パートナーシップ
代表 畠腹 桂子 さん



奥州・羽州「桑折宿」
パートナーシップ
渋谷 浩一 さん
(桑折町商工会 会長)

Q 今回のイベントについて教えてください。

「桑折宿まちなか街道」では、奥州街道・羽州街道の分岐点(追分)の宿場町や旧伊達郡役所等の歴史的な資産を活用した魅力と活力のある地域づくりを目的に、街道を活かしたまちづくりを推進しています。

今回の伊達氏ルーツと桑折宿と奥州・羽州・相馬中村街道探訪ツアーは、複数のテーマ毎にコースを設定し、桑折宿周辺の歴史的な資産をガイドと一緒に巡るツアーとなっています。

昨年度までは、年5~7回程開催し、参加者も約120名(1回あたり約20名程度)お集まり頂いていましたが、今年は新型コロナウイルス感染防止のため、1回毎の参加者を12名と縮小しての開催となりました。



▲桑折町北木戸口跡「榊形」にて(現在は緩やかなカーブとなっている。)

Q イベントの内容について、工夫されている事はありますか？

今回のルートでは、桑折宿の歴史的な資産だけではなく、桑折町の味覚も楽しんで頂くために、昼食でのおもてなしや、まちのお店もルートに設定しました。桑折のお土産として、ご購入される方もいました。

また、ツアーの参加者から、感想などについて、アンケートにお答え頂きました。



▲ツアー参加についてのアンケート



▲昼食の様子

Q イベントの広報などはどのようにされていますか？

※HP：ホームページ

このツアーについては、イベントへの申込書も兼ねたチラシを作成しています。また、桑折町 HP*や地元新聞などでも情報発信して頂いています。参加者の皆さんから「新聞を見て参加した」という声も聞きました。

イベントの様子などは関係者の Facebook や、福島河川国道事務所 Twitter などでも情報発信いただいています。



▲イベント案内チラシ

(裏面が申込用紙となっている)



▲福島河川国道事務所 Twitter

Q ルートの認知度を向上させるための取組はありますか？

平成 18 年にオープンした「奥州街道羽州街道追分（おいわけ）」があります。整備をきっかけに、桑折町に訪れる人も増え、周辺にお住いの方にも「奥州街道」と、「羽州街道」が認知されるようになりました。

また、今回のツアー参加者には、桑折町の魅力が詰まったパンフレットもお配りしています。パンフレットでは、今回のルートで巡るスポットもありますが、その他の桑折町の魅力についてもご紹介しています。



▲参加者に配布された桑折町の魅力を伝えるパンフレット

Q 今回のイベントを通して、どのようなまちを目指していきたいですか？

「宿場町と街道」は観光だけではなく、歴史的背景から見ても「防災」に強いまちであると考えています。そのようなまちの魅力を活かす取組みが、「桑折町に住みたい」人を増やすことに繋がっていくと考えています。

そのためには、固定概念にとらわれず「次何ができるのか」と常に先を読んで行動していくことが大切だと思います。

さらに、今回のツアーのようにまちの魅力を伝える「人づくり」の取組も大切です。



▲上町 CHEERS（ウワマチチアーズ）

地域のコミュニティースポット（飲食店）として令和 2 年 7 月にオープン。新しい魅力スポットとして紹介された。